

# 照合作業

AiBuilder を使用して設定変更を行うことで様々な照合に対応となります。

1. 「ファイル (F)」から「開く (O) ...」で「照合.mnu」を選択する。



2. 「メニュー設定」項目の「メニュー名称」から「1.1 対1 照合作業」を選択する。
3. 右側の「編集」ボタンを選択する。



4. 照合設定と蓄積データ

- 1) 「データ (収集) ファイル設定」の「ファイル番号」で「データファイル1～3」または「なし」を選択してトレーサビリティのログ情報を収集する。
- 2) 「サウンド/メッセージ設定」の「照合 OK 時パターン」で「パターン1～8」または「なし」を選択して照合一致の警報を設定する。同様に「照合 NG 時パターン」で「パターン1～8」または「なし」を選択して照合不一致の警報を設定する。

5. 設定が確定しましたら右下の「確定」ボタンを選択する。
6. 「入力項目設定」項目の「入力名称」から「ターゲット：」を選択する。

7. 「データチェック設定」を選択する。

8. 「入力データとの照合」タブを選択する。
9. 「入力項目3」は、部分照合を行う際に設定する。 標準照合の場合には、設定値を変更しないでください。
10. 「入力項目2」リスト欄は、マスターデータを入力した「入力項目設定」の「No」番号を選択する。
11. 部分照合を行う場合には、開始位置の番号を変更してください。 標準照合の場合には、設定値を変更しないでください。
12. 右下の「確定」ボタンを選択する。
13. 上記6項目の画面へ戻るので右下の「確定」ボタンを選択する。



1 4. 「メニュー設定」項目の「メニュー名称」から「1.1 対N照合作業」を選択する。

1 5. 右側の「編集」ボタンを選択する。



1 6. 照合設定と蓄積データ

- 1) 「データ (収集) ファイル設定」の「ファイル番号」で「データファイル1～3」または「なし」を選択してトレーサビリティのログ情報を収集する。
- 2) 「サウンド/メッセージ設定」の「照合 OK 時パターン」で「パターン1～8」または「なし」を選択して照合一致の警報を設定する。同様に「照合 NG 時パターン」で「パターン1～8」または「なし」を選択して照合不一致の警報を設定する。

1 7. 設定が確定しましたら右下の「確定」ボタンを選択する。

1 8. 「入力項目設定」項目の「入力名称」から「ターゲット:」を選択する。



19. 「入力名称設定」の「区分」で「共通」を選択する。（マスタデータのスキンを1回に設定）

20. 「データチェック設定」を選択する。



21. 「入力データとの照合」タブを選択する。

22. 「入力項目3」は、部分照合を行う際に設定する。標準照合の場合には、設定値を変更しないでください。

23. 「入力項目2」リスト欄は、マスタデータを入力した「入力項目設定」の「No.」番号を選択する。

24. 部分照合を行う場合には、開始位置の番号を変更してください。標準照合の場合には、設定値を変更しないでください。

25. 右下の「確定」ボタンを選択する。

27. 上記18項目の画面へ戻るので右下の「確定」ボタンを選択する。

28. 上記1項目の画面へ戻るので右下の「保存」ボタンを選択する。

以上の作業で修正が完了しましたので、「AiSync」を使用してBW-220本体へ「照合.mnu」をダウンロードしてください。